

## お正月の言葉

今年も残すところあと 1 週間。学校は明日から冬休みに入ります。皆さんにとっては、クリスマスやお正月がやってきて、ワクワクする時期かもしれませんが、寒くなってきましたので風邪をひかないように、インフルエンザやコロナにかからないように、しっかり予防をしてください。

さて、お正月は日本独特の言葉を聞くことがあると思います。いくつか紹介します。

「元日」や「元旦」という言葉を聞いたことがあると思います。どちらも 1 月 1 日のことですが、この二つは少し意味が違います。

「元日」は、年のはじめを祝う言葉で「この 1 年間、みんなが幸せでありますように」と祈る言葉です。「元旦」は、1 月 1 日の朝のことです。これは、年賀状などで「一刻も早く相手の人に新年のあいさつを伝えたい」という気持ちから使う言葉です。

漢字が違う分、意味も少し違うのです。

お正月には「おせち料理」を食べる人いるかと思いますが。この「おせち」は、昔中国から伝わった言葉で、「1 年間の収穫を祈り、神様にお供えするもの」として全国に広がりました。その一つ一つの料理には意味があるようです。

「黒豆」は、「豆は健康とか丈夫という意味があって、1 年間健康でまめまめしく働く」という願いが込められています。

「昆布巻き」や「鯛」を食べることもあります。これは、「昆布巻きは喜ぶ」、「鯛はめでたい」と語呂合わせで縁起がいいものとされています。

「海老」が入っていることもありますね。これは、「海老のように背中が丸くなるまで長生きできますように」という願いが込められているのです。

このようにおせちには、様々な願いが込められているのです。もっと様々な食べ物があるので、調べてみるといいですよ。

お正月にはこの他にも様々な言葉があります。「門松」、「鏡餅」、「書初め」、「初詣」、「福笑い」等です。日本の冬のこの季節。日本独特の言葉やその意味を探してみるのも面白いものです。

冬休みは、この 1 年間自分ががんばったことをいろいろ思い出してください。そして、がんばった自分のことを自分でほめてあげてください。